

# ゆらの通信

Vol.15  
平成24年7月

ここ数週間は雨が続き、湯水とは無縁の由良野の森。裸麦の刈り取りのタイミングを逃してしまい、なんと穂から芽が出てくる始末。そんな中でも、たまの晴れ間には森の動物たちも気持ちよさそうに森を走り回っています。6月10日にはこの春生まれた2頭の子羊もやってきました。名前は「リキ」（雄）と「ハナ」（雌）。夏場の草だけは豊富な由良野の森。草刈と良質の堆肥づくり、そして来春には羊毛の提供が役割。あたらしい仲間がふえました。

おいしい草です～（リキとハナ）



## 由良野の春



常に20羽～25羽のニワトリ連合



せんたくも手伝います、ヤギのチビ

## 2011年12月11日（午前） 会員交流お餅つき

毎年恒例の会員交流お餅つき。今年も積雪が残る年末らしい風景で行われました。薪の火でお米を蒸して暖をとっているのは子どもたち。ベテランを見習い、初めての人もどんどん参加。年を重ねるごとに要領がよくなってきました。お昼はたくさん搗いた餅でお腹もいっぱいになり、会員が一体になる楽しいひと時でした。



## 2011年12月11日（午後） ぶちゴマを作る（自分でつくるこま遊び）

ぶちゴマは樫の木を丸太のまま鉛筆状に削って、ミツマタの皮で作った鞭でたたいて廻す遊びです。今回は久万高原の会員古田隆さん、土居道秀さんに指導していただきました。鉋を使い木を削り、ハンマーでミツマタをたたきムチのための皮をはがします。参加した子どもたちは、古くて新しい遊び、に夢中。生の木の匂い、ミツマタの皮の肌触り。刃物を使うスリリングな楽しみを伝授されました。



実は大人が真剣になった！？

## 2012年1月7日 積雪

夏も冬も涼しい由良野の森。今年の冬もやはり積雪。寒くてもあまりに美しいので、晴れていれば散歩に最高です。冬仕様の車で運転に自信のある方は別世界体験に…。



## 2012年1月28日 池の前のアキグミとニワトリ

今年は本当にたくさん実った池の前のアキグミ。真冬に甘く熟れてとてもおいしいのを知った数羽のニワトリたちは、野鳥たちと共に一日中この実を食べています。こんな高いところに乗って食べていますが、飛べたのかっ？！



## 2012年2月8日 山羊の「オジョウ」が2頭の子ヤギを出産

朝起きてヤギたちがあまりに鳴いているので行ってみると…！びっくり。2頭の子ヤギが生まれていました。吹雪の中氷点下だったので、すでに胎盤は凍ってガチガチ。2頭目の子は元気でしたが1頭目の子は、顔も足も冷たくなっていて唇と鼻は紫色。急いでうちに連れて帰って薪ストーブの前で温め続けること12時間。何とか立って歩けるようになったので急いで母ヤギに返しました。（この春2頭の子ヤギは元気に育って新しい飼い主にもらわれていきました）



授乳中～。

## 2012年2月17日（朝） 続けて「ミミコ」3頭の子ヤギを出産。

今年5歳の「ミミコ」も吹雪の中の出産。3頭生まれたのですが、最初の1頭は1Kg（ほかの2頭は2Kg）でこれまた元気がなくて口と鼻がチアノーゼ。急いで連れ帰って薪ストーブで温めましたが、1日では元気になれませんでした。翌朝「ミミコ」のもとに返したのですが「ミミコ」は自分の子とは認めません。乳も飲ませようとせず、逆に角で追い返します。仕方がないので出産後からずっと哺乳瓶で育てています。そのおかげかすっかり人に懐いて来訪者の人気者になっています。（NHK「伊予路てくてく」に出演していたのは この子ヤギです。）



## 2012年3月25日 ムクノキ植林

由良野の森の水源のすぐ上にムクノキを植林しました。大木になる木だそうです。共生林担当の山本栄治さんが育てた苗を丁寧に植えました。この日は桑林の手入れやリンゴなどの果樹の苗も植えました。数年後には果樹園とムクノキの林が楽しめそうです。



## 2012年4月1日 第46回こども森林博士号講座 春を探そう

春、梅が満開の気持ちのいい天気の中、森の春を探しました。4月といってもまだまだ寒いのですが、あちこち発見する春のしるし。持って帰って実体顕微鏡で思い思いに観察。講師の山本栄治さんが詳しく解説して下さいました。



## 2012年4月15日 草原の音 馬頭琴とホーミーと歌 モンゴルライブin由良野の森

何度もモンゴルに足を運び、遊牧民との生活を経験している岡林立哉さんをお迎えして馬頭琴とホーミーと歌のコンサートを行っていただきました。まずはお昼ご飯にモンゴル料理をごちそうになり、昼食後に演奏会。今回は写真のように広い草原での野外でのライブ。楽しいお話を交えて感動的なひと時を楽しみました。遠い国モンゴルがとても近くなった一日でした。



天から響くホーミーって不思議…。

「スーホーと白い馬」を学習した小学生もたくさん参加しました。

## 2012年5月6日 イタリアデイ in 由良野の森 「やればできるさ！」上映会

イタリアンレストランのオーナーシェフ青江博さんの協力を得て、イタリア料理と由良野の森のピザそしてデザートが、新緑の森を伊国の雰囲気に染め上げました。みんなでゆっくりたくさんお昼をいただいて午後は上映会。イタリア本国では大ヒットの感動作。機材のハプニング続出でしたが、会場の皆さんのおかげで何とか上映終了。由良野の幻想的な新緑の中、笑顔の会員交流はその後夕方まで続きました。



ロカンダ・デル・クオーレの青江さん

## 2012年5月17日 セブン・ジェネレーションズ・ウォーク 山田和尚のお話会

天台宗の僧侶、山田俊尚さんは住職にあらず。ネイティブアメリカンとの親交も深いオープンマインドでロックンローラーなお坊様です。7世代先の子どもたちに未来を届ける生き方、暮らし方を静かに熱くわかりやすく（これ大事）説法してくださいました。多くの方に聞いて頂きたかったのですが、平日の昼間で残念でした。次のチャンスをまた作りたいと思います。



「ストーンと腑に落ちる」仏の道の歩き方。俗世の私たちには、先を歩く人の光明が手がかかり。

## 2012年6月3日 第47回こども森林博士号講座 「由良野の森を探検しよう」

今回の博士号講座は森の探検。すっかり初夏の森には生き物がたくさん出てきました。桑の実にはまだ少し早かったのですが、野イチゴをつまみながら網を持って走り回りました。



## 2012年6月3日 ゆらの総会

午後から行われた「ゆらの総会」。代表清水のあいさつ、事務局や共生林からの報告が行われた後は共生林へのトレッキング。由良野のトトロ山本栄治さんの案内で森の様子を見学しました。ちょうど数年前に森林博士号講座で植えた黄エビネがきれいな花を咲かせていました。会員の皆さん、森に来られてもなかなか共生林まで上ることは少ないようですが、軽く1時間のトレッキングです。遠くに小田深山も見えますよ。



## 2012年6月10日 仔羊がやってきた

会員でもある「こまどり」の菅さんが仔羊を連れてきて下さいました。由良野の森で羊を飼う目的の一つは羊毛。春に毛刈りを行い糸やフェルトにする予定。実は森のある父二峰地区は、戦前まで結構羊を飼っていて羊毛を自給していたそうです。この日は菅さんたちにフェルトづくりを学びました。教えていただくと「なるほど」の連続でした。雨の多い日が続き気の毒ですが、ヤギとけんかもせず仲良くしています。



フェルトに挑戦中！



菊間の作業所「こまどり」さんでは羊を飼って毛をつむぎ製品作りまで手がけています。



工房でフェルトづくりをしました。

## 2012年6月26日 大麦（マンネンボシ）の収穫

昨年秋に蒔いたオオムギを収穫しました。とにかく初めてなので失敗ばかりです。麦踏ができません、春に山羊に芽を食べられ、そして収穫の時期を逃してしまい、梅雨に突入。あまりの雨続きでご覧のとおり芽が出始めました。それでも何とかできるだけ収穫したので麦飯や味噌を作ってみようと思います。失敗は成功の母。草取りを必要としない麦は、ここでは非常に有望です！



## 2012年6月29日 地元父二峰小3・4年生の校外学習

地元の小学校の児童が校外学習でやってきました。放し飼いの羊やヤギ・ニワトリと触れ合い、日本ミツバチの蜂蜜を味わい、自然の中を探検する2時間ほどの短い時間でしたが、体験から感じていくきっかけになればと願っています。



体験学習は楽しい発見から探検に発展！！。



2012年7月2日・3日 久万中学校（藍染体験）集団宿泊訓練のプログラムの一つとして地元の中学校の1年生が藍染体験でやってきました。2日とも雨でしたが染めている2時間は雨が止んでいました。由良野で育てた藍の葉っぱで染料を説明。ニワトリや山羊が走り回るなか、世界で1枚の作品の出来上がり。ブヨにかまれた生徒もドクダミの汁でかゆみ止めを覚えて帰りました。



1年A組の女子。ハイポーズ☆



授乳も体験！

ゆらの代表 清水 秀明 あいさつ  
(2012年6月3日 由良野の森ゲストハウス ゆらの総会より)

「ゆらの」という会が平成15年にできて、おそらく7年になると思います。  
(8年になります：事務局注)  
今まであまり言ったことがなかったのですが、ゆらのを創って、  
ここで活動する意味を今一度おはなししたいと思います。

人と自然との相互に依存した関係。  
人と自然とがお互いに依存した関係にあるということを  
我々はもう一度きちんと認識していく必要があるのではないか・・・。

それは、「自然の中で様々な経験をしていく」ということで良いのですが・・・。

今現在ゆらのは、約120名あまりの会員の方で支えていただいています。  
大変ありがたいことだと思っています。

ぜひこれからも、ゆらのに来ていろんな経験をして、  
皆それぞれの場所に持って帰っていただきたい。

というのも、最近日本でいろんな自然災害などが起こっていますね。

実は私は、原子力工学科を卒業したのですが。  
科学というのは「善でも悪でもない」  
使い方による。  
要するに、「人の心に依存している」。  
ということは、われわれ一人ひとりがそういう気持ちをどれだけ持っていけるか。  
そういうことをどれだけ考えていけるかということだと思っています。

このようなことを、今一度考えていただきたい。  
そう思っています。

(2012年 ゆらの総会にて 書き起こし文責 わしのようこ)  
総会の様子は、インターネットのustreamでもご覧いただけます。(yurano)で検索



事務局より

まったく思うように進まない、自然相手の予定に計画てんこもり。  
毎年想定外の展開に、たじたじの管理人兼事務局です。

アグロフォレストリーを始めたら、草刈りする場所も増えたということだし、家畜が増えるとそのお世話も時間をとるとのこと。

会員の皆様で、それでは！！と欲していただけの方の  
**草刈&手弁当手伝いプロジェクト**を始めたいと思います。

(本来の里と里山プロジェクトってことですね)  
平日・土日祝日を問いませんので、天候を見てご連絡いただけたら  
対応いたします。とにかく森に来るけどなんかやろか？という方。  
ご連絡をお持ちしています。

とはいえ・・・。  
これからの季節は涼しくて快適な久万高原です。

町の雑踏からは遠く、さわやかな風ときれいな空気と水に、ただただ  
癒されに来られる方も歓迎いたします。

8月の企画を同封しています。合宿の間（8月4・5日）はクローズ  
ですが、5日の午後からはゲストハウスもオープンです。  
夏の間は、その他の予定は今のところ入っていませんので、  
ゆっくりするためだけでもぜひご利用ください。

尚、会員以外の方をご同伴の際は使用要綱をよく読んでいただいて  
気持ちよく使っていただけるようご配慮くださいませ。

宿泊などは予約が必要です。事前にご連絡ください。

総会に来られなかった方も、ゆらのの活動にご意見ご要望など  
お寄せいただけたらと思います。

私たちはどこへ行こうとしているのか。  
そういうことをきちんと考えていきたいと思います。

由良野の森事務局 鷺野宏  
電話・FAX 0892-21-8076

